

令和8年度 オーガニック・アカデミー 開催要領

1 趣 旨

第4期長野県食と農業農村振興計画の推進にあたり、本県における有機農業の取り組みをさらに拡大するべく、有機農業を実践する上で必要な基礎となる知識（土壌の基礎知識、害虫の発消長や習性、病気の発生のメカニズム・防除対策および経営等）の習得や、栽培技術の向上を図るため、県内において有機農業での農業経営を目指す意欲のある新規就農者等を対象とした講座を開催します。

2 受講対象者及び募集定員

(1) 受講対象者

- ア 長野県在住で、県内において有機農業での就農を目指す者、既に有機農業を行っている者、農作物の栽培経験があり有機農業の取組を志向している者
- イ 有機農業に関する技術習得を希望する市町村職員、JA職員等

(2) 募集定員

- ア 基礎コース 40名
- イ 品目別コース 20名 ※両コースの参加可能

3 開催日(時期)及び講座内容

(1) 基礎コース

開催日		内 容	
第1回	9月10日(木) 第2回に向け土壌持参	第1講	有機農業推進政策について (1) みどりの食料システム戦略について
		第2講	(2) 有機農業の推進方針について
		第3講	(3) 有機農業の現状・各種認証制度について
第2回	10月19日(月)	第4講	土づくり・土壌診断の基礎 実習<pH,EC,可給態窒素>
		第5講	有機農業のスタートにあたって (有機農業実践者による講義およびほ場視察)
第3回	11月上旬(予定)	第6講	有機農業における雑草防除の考え方
		第7講	有機農業における病虫害管理
		第8講	有機農業の経営・出口戦略について

(2) 品目別コース

○水稲

開催時期		内 容
第1回	8月上旬	食味について、出穂期調査、採種に向けた異株除去
第2回	9月上旬	秋処理について、収穫期調査
第3回	11月中旬	有機物管理について、秋処理の確認
第4回	12月上旬	抑草技術の考え方
第5回	令和9年1月中旬	抑草技術の考え方
第6回	令和9年2月上旬	抑草技術の考え方

○野菜

開催時期		内 容
第 1 回	8 月上旬	緑肥から始める有機栽培とタネ採り 果菜類（トマト・キュウリ）の交配
第 2 回	8 月下旬	イネ科-アブラナ科栽培体系（スイートコーン→ハクサイ） の紹介、ほ場見学
第 3 回	9 月上旬	野菜のタネ採り体験ほか
第 4 回	10 月下旬	野菜畑の育土（土づくり）のポイント、ほ場見学（タマネギ 定植・緑肥等）
第 5 回	11 月中旬	緑肥から始める有機栽培
第 6 回	11 月下旬	緑肥から始める有機栽培
第 7 回	11 月下旬	緑肥から始める有機栽培

※ 日程・内容が変更となる場合がありますので、予めご了承ください。

※ 基礎コースは原則、すべての回への参加をお願いします。

4 開催場所

（１）基礎コース

【第 1 回】安曇野庁舎 講堂（安曇野市豊科 4960-1）

【第 2 回】伊那合同庁舎 302 号会議室（伊那市荒井 3497）

【第 3 回】長野合同庁舎 別館大会議室（長野市南長野県町 593-14）※予定

（２）品目別コース

水 稲	野 菜
【第 1 回】 中信地区	【第 1 回】 中信地区
【第 2 回】 中信地区	【第 2 回】 中信地区
【第 3 回】 中信地区	【第 3 回】 中信地区
【第 4 回】 東信地区	【第 4 回】 中信地区
【第 5 回】 北信地区	【第 5 回】 北信地区
【第 6 回】 南信地区	【第 6 回】 東信地区
	【第 7 回】 南信地区

5 受講料 無料 （参加にあたっての交通費等は各自にてご負担下さい）

6 受講申込

以下のいずれかの方法により農業技術課へ申込み下さい。

FAX にて申し込む場合は、別紙様式「令和 8 年度オーガニック・アカデミー受講応募用紙」に必要事項を記入の上、送信ください。

方法	送付先	受付期限	備考
Microsoft forms	申込フォームより必要事項を入力し、送信 【URL】 https://forms.office.com/r/qA58kKggmU 【スマートフォン用二次元コード】 	7 月 31 日（金）まで	申請後、申込 完了メール が届きます。
F A X	0 2 6 - 2 3 5 - 8 3 9 2	7 月 31 日（金） 午後 5 時受信分まで	

7 留意事項

- (1) 定員を超える応募があった場合は、過去に本アカデミーを受講したことのない方、研修生や新規就農者を優先させていただき、就農年数や応募動機を参考に受講者を決定します。
受講決定通知は、申込書の連絡先にあてに随時送付します。
- (2) 発熱や咳等の風邪の症状といった体調の優れない場合は参加を控えていただくとともに、当日会場への入室を制限する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (3) 参加者以外へも有機農業に資する技術等を普及するため、使用する資料や講義の様子等は可能な範囲で後日公開する予定です。